



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 平成25年度学校法人昭和大学学祖祭 が開催されました 歯学部長 宮崎 隆

平成25年度学校法人昭和大学学祖祭が、6月8日(日)午後1時から、上條講堂で本学関係者、職員、学生約500名の出席の



もと盛大に開催されました。学祖祭は本学の学祖である上條秀介先生のご遺徳を称え偲ぶとともに、本学関係者が一同に会して親睦の絆をより深めるために平成23年度から開催されています。

当日は、学祖祭に先立ち、法人役員と上條家関係者が都立多摩霊園の上條家墓をお参りし、小口理事長が学校法人の平成24年度の事業報告ならびに25年度の事業計画を学祖祭に墓前報告しました。

学祖祭は本学管弦楽団の前奏に引き続き、久光総務担当理事の司会で始まりました。片桐 敬学長が、85年目を迎えた本学の歴史をふまえて、今後益々の発展を期したいと挨拶されました。引き続き、片桐学長から平成25年度の上條奨学賞の授与が行われました。歯学部からは、歯科補綴学講座の岩佐文則講師(研究業績)と高齢者歯科学講座の佐藤裕二教授(教育功績)が表彰されました。

小口勝司理事長がプロジェクターを使って、平成24年度の事業報告と平成25年度事業計画の概要を説明し、全職員が情報を共有して同じ方向性を持って大学が発展できるようにしたいと挨拶されました。



その後、細山田明義名誉教授(前学長、現在法人監事)が、昨年、一昨年に引き続き「学祖 上條秀介先生と昭和大学」というタイトルで、上條先生が「国民の健康に親身になって尽せる臨床医家を養成する」という願いのもとに、数々の苦難を乗り越えて、専門学校創設そして戦後の昭和医科大学へと発展させて

きた歴史について、エピソードを含めて熱のこもった記念講演をされました。

昭和大学宣言の唱和と校歌を斉唱して午後3時半に閉会しました。引き続き7号館で懇親会が開催され、MASや応援指導部のパフォーマンスがあり、和やかな雰囲気の中、参加者は思い出話に話を弾ませました。

## 平成25年度父兄会総会が開催されました 教育委員長 井上美津子

平成25年度父兄会総会が、去る6月15日(土)午後1時から本学上條講堂にて開催されました。大学側から、平成24年度の学校法人の事業報告と平成25年度の事業計画の概要が紹介され、決算、予算の承認等が行われました。父兄会からは毎年、学生会の活動補助、指導担任制度の補助、学生の教材の印刷補助等、大学の運営に多大なご支援をいただいております。

また同日の総会に先立ち、午前11時30分よりD6父母説明会が、12時45分からはD6学生説明会が開催され、宮崎学部長、上條学生部長の挨拶のあと、卒業試験や卒業判定、歯科医師国家試験や卒後の進路(とくに卒後研修制度や歯科病院の研修プログラム)についての説明が、井上教育委員長、美島D6チューター、佐藤臨床研修医マッチング支援委員長、長谷川臨床研修プログラム責任者からありました。とくに佐藤教授からはマッチングに関する詳しい説明がありました。

総会終了後は各学部に分かれ、歯学部会は4号館5階500号室で多数のご父兄の出席のもとで開催されました。



宮崎学部長から最近の歯学部の施設や教育の現状について説明があり、上條学生部長からは学生生活についての諸注意、井上教育委員長からは各学年における今年度のカリキュラムの特徴などの話がありました。

その後、7号館に会場を移して4学部合同の懇親会が開催され、こちらにも多数のご父兄の参加があり、楽しく和やかな歓談が行われた後、午後4時半過ぎにお開きになりました。

## 上條奨学賞(研究業績)を受賞して

歯科補綴学講座 岩佐文則

「骨とインプラントに関する生物学的研究」というタイトルで、平成25年度上條奨学賞(研究業績)を受賞いたしました。これまで多くの方々に支えられてきた私にとって、このような栄えある賞はうれしい反面、恥ずかしさを感じるものでありますが、ご評価を頂き、今は感謝の気持ち



でいっぱいです。特に、今回の研究の基盤となった米国留学の機会をくださった、歯科補綴学講座 馬場一美教授と医局員の皆様、また終始サポートくださった口腔生化学講座 上條竜太郎教授に、この場をお借りし深く感謝申し上げます。臨床家としてトランスレーショナルリサーチの重要性を認識し、時間軸と貢献度の高さを測りながら、未来へ投資すべき研究を目指して邁進して参りました。その間、馬場教授をはじめ国内外の共同研究者の方々から多くのご指導とご支援を賜り、現在も日々大学院生とともに悪戦苦闘しております。浅学にして非才なる私ではございますが、今回の受賞を励みに、今後は臨床家と科学者の間に入り、科学の通訳の役割も果たせるよう、新たな出発点として精進して参りたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

## 上條奨学賞(教育功績)を受賞して

高齢者歯科学講座 佐藤裕二

この度、「継続的な学部学生及び大学院生への教育システムの構築」ということで、本学創設者の上條秀介先生ゆかりの栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。支えて下さいました皆様のおかげです。ありがとうございます。私は平成14年に広島大学から赴任してまいりました。



当時から昭和大学歯学部は医系総合大学の歯学部として高い評価を得ており、先進的な教育システムを作り上げられていました。過去の実績に安住することなく常に最善を求めて前進していく執行部の先生方の姿勢とそれを支える職員の協力体制に大変感銘を受けました。赴任直後から、積極的にワークショップにも参加させていただき、平成16年にはワークショッ

プ委員長を拝命しました。翌年から4年間、教育委員長として、カリキュラムの改訂や効率化に取り組み、6年生の選択実習の立ち上げ、教員の相互評価の導入、臨床実習の充実に努めてきました。その後は、国家試験対策を担当させていただき、現在は大学院運営委員長として大学院教育の充実に努力しています。昭和大学の教育の充実に微力ではありますが関与させていただいたことを誇りに思っております。今回の受賞を励みとし、今後も引き続き努力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 顎口腔疾患制御外科学講座教授(員外)に就任しました

代田達夫

私は昭和61年に本学歯学部を卒業後旧第1口腔外科学教室へ入局し、その後大学院、ドイツ留学を経て今日に至るまで口腔外科の教育、研究、診療に携わってきました。



口腔外科は抜歯や嚢胞摘出などの小手術、口腔粘膜疾患などに対する内科的治療から奇形・顎変形症、そして口腔癌の手術まで多岐に及んでいます。私は口唇口蓋裂、顎変形症、顎骨再建、あるいはインプラント等の手術を中心として、年間150件余の手術を執刀しています。しかし、これまでの経験を鑑みるならば、口腔外科医は耳鼻咽喉科医や形成外科医と同じようなことをする歯科医であってはならないと思います。即ち、彼らと同じ土俵で競うのではなく、より歯科的な考え方、歯科の知識・技術を前面に出すことで、口腔外科が歯科医療の重要な一分野を担っていることを社会に強く発信すべきであると考えます。そして、歯科医としての特長を生かし、顎口腔機能回復に主眼を置いた口腔外科の分野もさらに発展させるべきであると思います。これまでの経験を生かし、本学歯学部の発展のために微力ながら貢献したいと考えています。どうか皆様方のご指導とご支援を賜れますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 第24回国際小児歯科学会で発表しました

小児成育歯科学講座 島田幸恵

国際小児歯科学会は2年ごとの開催で、今年は66か国の方が参加されておりました。今年は韓国(ソウル)での開催で、昭和大学のOBも多数参加していました。774題の発表のうち、95題が招待講演、126題の口頭発表、553題のポスター発表がありました。昭和大学からはスペシャルニーズ口腔医学講座口

腔衛生学部門の久保田一見先生が招待講演の Lectures 5: "Special smiles I" Dental care for special children (90')で, "Dentistry for every child - All children should have a chance to see a pediatric dentist"を講演されました。小児成育歯科学講座からは, 渡来真央先生, 杉山智美先生, 浅里仁先生, 堀川康弘先生と島田がポスター発表をしました。ポスター発表では2名の座長が付き, 3分間のスピーチと質疑応答をする時間が設けられておりました。そして発表後には Certification が渡されることになっていましたが, 当日プリンターの故障により受け取ることができず, 翌日に受領するというハプニングもありました。

以前, 共同研究で昭和大学にいらしていた Queen Mary University of London の Liversidge 先生が, 昭和大学での研究データを含めた世界の歯の発育についての発表をされており, 旧交を温めることができました。2年後はイギリスの Glasgow での開催ということもあり, 会場ではバクパイプの演奏などもされており, 和やかな時間を過ごすことができました。

最後に Liversidge 先生と2年後にまた会う約束をして帰路につきました。



## 歯科医師国家試験の出題基準および合格基準が変わります！

D6チューター会議 美島健二

平成22年度に作成された歯科医師国家試験出題基準が本年度改訂になりました。これは, 時代のニーズに応え得る歯科医師を養成するために4年に一度, 行われる変更で, 社会的な要請が強まっている下記の事項に重点が置かれています。(以下厚生労働省の発表より抜粋)

- ・歯科医師として必要な, 高齢者や全身疾患を持つ者等への対応(全身疾患, 検査及び多職種連携等)
- ・歯科口腔保健の推進に関する法律の制定等を考慮した歯科疾患の予防管理
- ・医療保険・介護保険等を含む現行の社会保障制度
- ・歯科領域から推進する, 口腔と全身疾患との関係(禁煙指導と支援, 食育と食の支援等)
- ・救急災害時の歯科保健対策・法歯学

これらの変更に伴いブループリント(歯科医師国家試験設計表)に「高齢者の歯科診療」という項目が加えられました。一方, 合格基準については, 大きな変更点はなく, 必修問題における絶対基準と一般・臨床実地問題における相対基準での評価はそれぞれ現行通りとされ, 各領域における「必要最低点」の設定があらためて確認されました。以上これらの変更点をふまえた各分野における学習内容の授業へのフィードバックを宜しくお願い致します。

## D3研究入門の優秀者が表彰されました

教育委員長 井上美津子

毎年歯学部3年生の2月から3月にかけて, 選択実習の「研究入門」が行われます。この実習では, 歯科医学, とくに基礎歯学の専門性の高い研究に学生のうちから直接触れることにより, 歯科医学のEBMを理解し, 研究マインドが育つことが期待されています。平成24年度の研究入門では, 11名の学生が口腔生理学, 口腔生化学, 口腔病理学などで2週間の研究を行いました。その成果としての研究報告書などから評価が行われ, 5月の教授会で成績優秀者3名(梶原里紗, 黒滝優太郎, 湯川未郷)が表彰されました。また, 最優秀の梶原里紗さんはスチューデント・クリニシャン・リサーチプログラムの本学代表として選出されました。



## D2防災訓練が行われました

防災管理委員会 中村雅典

6月6日木曜日に医歯薬3学部2年生を対象に荏原消防署のご協力のもと, 防災訓練が開催されました。医学部災害対策委員長の中館教授の挨拶, 荏原消防署予防課長による災害時の対策に対する講話の後, 班に分かれて避難訓練, 通報訓練, 消火訓練, 起震車体験, 煙体験を行いました。昨年度から医学部2年生が参加し, 1班80名という大人数での訓練となりましたが, 多くの学生たちは真剣にかつ興味を持って訓練に参加してくれました。一昨年の東日本大震災の経験から, 私たちは“想定外はない”ということ学びました。この訓練を経験することで, 個々の学生には, いつ何時どのような災害が生じても自己の生命と周囲の人間の安全を守る意識を常に持って学生生活を送ってみたいと思います。



## 神戸大学で選択実習を行いました

D6 中田 和甫史

今回、選択実習先として神戸大学を選んだのは、私が兵庫県出身であり将来は生まれ育った地元で歯科医師として地域医療に貢献したいと考えていたからです。そのために兵庫県で唯一、地域医療機関と連携を組んで歯科口腔外科診療に当たっている神戸大学で、診療内容や、地域医療機関との連携内容などについて見学し学びたいと思いました。神戸大学では病棟、外来を1週間ずつ見学させて頂くことができました。病棟では15時間を超える手術やICU、入院患者さんの回診や術前・術後カンファなどに参加させていただき、外来ではレーザー治療、難拔牙、顎関節症、超音波検査などの見学をさせていただきました。そこで一番感じたことは、医師との連携体制がとても充実していたことです。例えば形成外科の先生との手術中の連携であったり、入院患者さんに対する治療方針決定などの情報共有であったりと、全ての医療従事者の間に壁が無く、安全で質の高い医療を提供できるチーム医療が実践されていると肌で感じました。どの先生も、私に本当に優しく接していただき、神戸大学の良さをたくさん話して頂きました。自分が働く勤務先にこれだけ誇りを持って話せるということは本当に素晴らしいことだと思いました。私にとってこの2週間は本当に充実した期間でした。選択実習を受ける前よりも国家試験の合格に対する思いが強くなり早く知識をつけて先生方のようになりたいと思いました。歯科大学の中で6年時から希望する実習先で2週間も見学できる機会を与えてくれるのは昭和大学だけです。地元を離れてでも昭和大学に入学して本当によかったと感じました。今回、私たち学生のために、このような機会を与えて下さった先生方に感謝いたします。本当にありがとうございました。



## 科学研究費補助金が内定しました

研究活動委員長 上條 竜太郎

去る4月1日、文部科学省と日本学術振興会は、平成25年度科学研究費補助金の交付内定を公表しました。昭和大学全体では採択件数223件、採択金額は3億1010万円でした。歯学部の交付内定状況は下表の通りで、交付内定件数は増加したものの、交付内定金額は昨年度と比較して若干の減額となりました。なお、歯学部の交付内定金額は、昭和大学全体の交付内定金額の44.5(昨年度は47.5%)にあたります。

日本学術振興会は法改正により学術研究助成基金

(以下「基金」)を新設し、基盤研究C、若手研究B、挑戦的萌芽研究、そして一部の基盤研究B(新規課題のみ)は本基金から研究費が交付されています。それに伴い、会計年度にとらわれない契約が行えるとともに、研究の進展に合わせた研究費の前倒し又は次年度使用など、柔軟な執行が可能となります。ご不明な点は、歯学部研究活動委員会、財務部研究助成課にお問い合わせ下さい。

科学研究費補助金内定状況

|          | 平成24年度 |    |         | 平成25年度 |    |         |
|----------|--------|----|---------|--------|----|---------|
|          | 採択件数   |    | 内定金額    | 採択件数   |    | 内定金額    |
|          | 新規     | 継続 |         | 新規     | 継続 |         |
| 基盤研究A    | 0      | 0  | 0       | 0      | 0  |         |
| 基盤研究B    | 1      | 4  | 23,100  | 0      | 4  | 10,800  |
| 基盤研究C    | 13     | 25 | 46,600  | 17     | 30 | 61,000  |
| 若手研究B    | 23     | 19 | 68,300  | 14     | 25 | 50,300  |
| 研究活動スタート | 8      | 4  | 13,400  | 申請中    | 8  | 8,600   |
| 挑戦的萌芽研究  | 4      | 4  | 10,100  | 3      | 4  | 7,400   |
| 合計       | 49     | 56 | 161,500 | 34     | 71 | 138,100 |

(内定金額は新規・継続の合計で単位は千円)

(採択金額は直接経費のみ)

## 昇任・採用

広報委員長 井上富雄

谷 千尋

(歯科保存学講座美容歯科学部門、  
講師定員枠昇任)

## 行事予定

広報委員長 井上富雄

- 7月 6日(土):昭和歯学会
- 7月12日(金):夏季スポーツ大会壮行会
- 7月13日(土):歯科病院健口フェスティバル
- 7月22日(月):4学部合同入試説明会
- 7月30日~8月12日(火~月):歯学体
- 7月30日~8月1日(火~木):昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーコース)
- 8月 4日(日):歯学部オープンキャンパス
- 8月 7日~ 8日(火・水):昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスコース)
- 8月22日~23日(木・金):富士吉田 PBL ワークショップ
- 8月25日(日):歯学部オープンキャンパス

## 編集後記

歯科理工学部門 堀田康弘

本格的な梅雨の季節が到来し、台風などの影響も重なり、なかなかすっきりとした天気にならない今日この頃ですが、体調管理には気を付けたいですね。もう少しすれば、学生にとっては待望の夏休みですが、その前に待ち受ける定期試験は、学生だけでなく、我々教員にとっても生みの苦しみがありますね。

さて、末筆になりますが、いつもお忙しい中、原稿を執筆して頂いた皆様には心より感謝申し上げます。